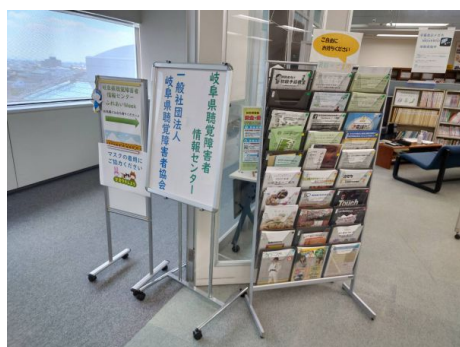


ふれあいWeek 2022

ご来場いただきありがとうございました

8月3日（水）～8日（月）の期間で情報センターふれあいWeekが開催されました。新型コロナウイルス感染症の拡大により開催が危ぶまれましたが、感染症拡大防止対策を実施の上、延べ89名の方にご来場していただきました。



【特別講演①・②】

本来であれば、講師を岐阜にお招きして、講演していただく予定でしたが、講師と直接お会いできることを楽しみにしていただいた方も多数いましたが残念ながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンラインに切り替えて、講演を行いました。今回はハイブリッド形式（ボランティア室にて集合視聴と各自宅で視聴）で行い、大きなトラブルもなく無事終了できたことに安堵しました。

色々課題もありましたが、参加者からの声も参考にさせていただき、今後活かしていきたいと思っております。



【福祉機器展示・字幕表示メガネ(MOVERIO)体験】

例年同様、福祉機器展示及び体験をしていただきました。聴覚障がい者がどのように日常生活を送っているかを知っていただくきっかけになりました。特に字幕表示メガネ体験は大変好評でした。情報センターでは2台保有しており、貸出を行っています。詳細については、情報センターまでお問い合わせください。



【初級手話教室・難聴者向け初級手話教室・要約筆記体験】

定期的に行っている企画ですが、普段参加されないような夏休み中のお子さんにも参加して頂きました。企画終了後に福祉機器展示を体験してもらおう等、きこえないことを知っていただくいい機会になりました。

新型コロナウイルス感染症の影響による様々な課題もありましたが、同時に利用者の声を直接聴くことができた貴重なイベントになりました。今後も引き続き、利用者の声を聴きながら気軽に立ち寄っていただけるセンターになることを目指して参ります。



全国聴覚障害者情報提供施設協議会

2022年度総会及び施設大会

2022年6月17日（金）愛知県にて、全国聴覚障害者情報提供施設協議会2022年度総会及び施設大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症もあり、愛知県に対面で参加した施設、Zoomで参加した施設と半々でした。

午前は、総会が行われ提出された第1号議案～第6号議案は全て承認されました。

午後から『ICT技術を活用した聴覚障害者向け情報ネットワークの構築とその活用について』をテーマに施設大会が行われました。

①『デジタル社会の実現に向けた聴覚障害者情報提供施設の役割』

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室 富原 博氏

②『昭和末期から始まったネットワークが今や視覚障害者になくってはならないシステムへ』

特定非営利活動法人 全国視覚障害者情報提供施設協会 山田 智直氏

上記2名の講演後、下記2名を加えた4名によるシンポジウムが行われました。

一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事長 石野 富志三郎氏

認定特定非営利活動法人 障害者放送通信機構 理事長 高田 英一氏

4名それぞれの立場から、ICTの課題と今後の展望について意見を述べられました。

総会・施設大会に参加して、様々なことを学び勉強になったと同時に今後情報提供施設としてのあり方を考えなければならないと感じました。特に今後はICTを活用した事業が求められることが想定され、ICTを明確に理解できる人材が必要になると感じました。また、全国の情報提供施設の共通の業務として、手話・字幕ビデオライブラリー制作・貸出がありますが、ICTの普及によりライブラリー利用が年々減少しているという課題も挙がっています。その中で全国各地の聴覚障害者が常に、全国のネットワークで利用できる新たな取り組みが必要になると感じました。

2022年度第4ブロック会議

2022年7月22日（金）滋賀県にて、全国聴覚障害者情報提供施設協議会第4ブロック会議が開催されました。新型コロナウイルス感染症もあり、対面で参加した施設、Zoomで参加した施設は半々でしたが、顔合わせができ良かったです。

第4ブロック会議では、福祉情勢や全国の動向などの共有、各施設の取り組みについて情報交換、今後の第4ブロック会議のあり方などを議論しました。各施設が抱える課題はそれぞれ違いますが、岐阜県として参考になる部分は活用していきたいと思います。今後も第4ブロック会議及び専門委員会による会議や研修には積極的に参加し、職員間で情報共有ができるように務めていきたいと思っています。

意思疎通支援担当者研修会

2022年7月26日（火）～27日（水）オンラインにて、2022年度意思疎通支援担当者研修会が行われ、当センターからは意思疎通支援担当職員2名が参加しました。

26日（火）は、『障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法』について、聴覚障害者制度改革推進中央本部 全日本ろうあ連盟理事 中西久美子氏による講義、各情報提供施設による実践報告、グループ討議を行いました。

27日（水）は、『日常業務の向上のために～各施設で実践している支援あれこれ～』について、各施設による実践報告、グループ討議を行いました。

法律について、行政や企業に対して説明ができるように学習する必要性を感じました。他施設の事例を聞くことで参考になった所も多く、今後の業務に活かしていきたいと思っています。

障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法

2022年5月25日、『障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律（通称：障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法）』が公布・施行されました。

この法律は、全ての障害者が、あらゆる分野の活動に参加するためには、情報の十分な取得利用・円滑な意思疎通が極めて重要であることから、障害者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策を総合的に推進し、共生社会の実現に資するために制定されました。

基本理念

- 1 障害の種類・程度に応じた手段を選択できるようにする
- 2 日常生活・社会生活を営んでいる地域にかかわらず等しく情報取得等ができるようにする
- 3 障害者でない者と同一内容の情報を同一時点において取得できるようにする
- 4 高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用を通じて行う（デジタル社会）

基本的施策

- (1) 障害者による情報取得等に資する機器等（11条）
 - ①機器・サービスの開発提供への助成、規格の標準化、障害者・介助者への情報提供・入手支援
 - ②利用方法習得のための取組（居宅支援・講習会・相談対応等）、当該取組を行う者への支援
 - ③関係者による「協議の場」の設置 など
- (2) 防災・防犯及び緊急の通報（12条）
 - ①障害の種類・程度に応じた迅速・確実な情報取得のための体制の整備充実、設備・機器の設置の推進
 - ②多様な手段による緊急の通報の仕組みの整備の推進 など
- (3) 障害者が自立した日常生活・社会生活を営むために必要な分野に係る施策（13条）
 - ①意思疎通支援者の確保・養成・資質の向上
 - ②事業者の取組への支援 など
- (4) 障害者からの相談・障害者に提供する情報（14条）

国・地方公共団体について

 - ①相談対応に当たっての配慮
 - ②障害の種類・程度に応じて情報を提供するよう配慮
- (5) 国民の関心・理解の増進（15条）

○機器等の有用性・意思疎通支援者が果たす役割等、障害者による情報取得等の重要性に関する関心・理解を深めるための広報・啓発活動の充実 など
- (6) 調査研究の推進等（16条）

○障害者による情報取得等に関する調査研究の推進・成果の普及

詳細は内閣府のホームページをご覧ください。

生活講座(整理収納セミナー)

2022年7月10日（日）関市総合福祉会館にて整理収納セミナーを開催しました。関市在住の整理収納アドバイザー 白石知美氏をお招きして、整理収納の基本を参加者12名に対して講演していただきました。

とても分かりやすい内容で、参考になったという声を多数いただきました。みなさんコツを教わり帰ったらすぐ整理したくなったようです。。

生活講座(初級手話教室、要約筆記体験含む)は、きこえる方も参加できる講座です。

参加してみたいけどできるかな・・・と心配な方は、情報センターまでお問い合わせください。

手話等普及啓発のためのアウトリーチ事業

聴覚障害者の基礎知識（聴覚障害者とは？コミュニケーションの方法は？など）について学ぶ講座です。今回は7月に実施した2件を紹介します。

7月28日（木）山県市福祉事務所

10代から40代の8名の方を対象に、講座を行いました。この講座をきっかけに情報センターが企画している初級手話教室に参加して下さった方も見えました。参加者からの声をいくつか紹介します。

- ◆講師が一所懸命話して下さったのでとても分かりやすく、講師のご両親の思いを聞いて、講師が今、生きて頑張ってみえることをきっと喜んでいるだろうなと思いました。
- ◆今日は、初めてだったけどすごく楽しかった。8/3の情報センターふれあいWeekの初級手話教室も頑張りたいです。
- ◆昔は差別がおきていたけど今は差別されにくくなったのがいいと思った。もっとこの社会が色々な人への対応ができるようになるべきだと感じました。

7月30日（土）多治見市福祉課

10代から70代の11名の方を対象に、講座を行いました。この講座は、多治見市福祉課が行っている“聞こえない”ってどんなこと？～聴覚障がいとそのコミュニケーションについて学ぶ講座～の一環として行いました。今回は、聞こえない人はどんなことで困っているの？をテーマに行いました。参加者からの声をいくつか紹介します。

- ◆手話でお話してできることを楽しみたいです。また、手話を学べばOK、ではないということもよく分かりました。
- ◆学校で聴覚障害の子がいるので、その子とのコミュニケーションに役立てたいです。
- ◆このような講座をこれからも受けていきたい。

アウトリーチ事業は無料でご利用頂けます。

申込用紙は、センターHPのアウトリーチのページよりダウンロードしてお申し込みください。

その他詳細については、センターまでお問い合わせください。

電話リレーサービス 利用説明会

日時：11月12日（土） 14:00～16:00

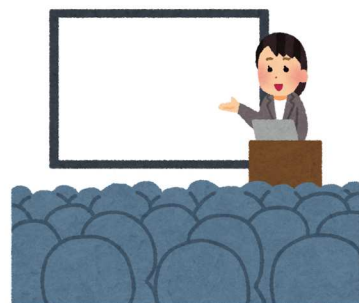
場所：美濃加茂市生涯学習センター 201集会室

日本財団の職員とオンラインで繋ぎ、電話リレーサービスの利用方法などについて学びます。

その後、会場のスタッフによる登録方法などの相談、対応を行います。

聴覚障がい者だけでなく、きこえる方でもどなたでも参加頂けます。

詳細は、当センターのホームページ及び公式LINEにて発信する予定です。



LINE



Facebook



ブログ

左のQRコードを利用すると、情報センターのLINE、Facebook、ブログに簡単にアクセス出来ます。ぜひご利用ください。

